

平成29年度

地球環境「自然学」講座

第 4 回

テーマ

加賀海岸緑化の普遍的価値
－世界遺産を目指して－

講師

前加賀市長

NPO法人・加賀海岸の森と海を育てる会 会長

大幸 甚 先生

平成 29 年 5 月 27 日 (土)

認定NPO法人・シニア自然大学校

講師プロフィール

大幸 甚（おおさか じん）



生年月日：1941 年 12 月 23 日

専修大学法学部卒

代議士秘書

加賀市議会議員

石川県議会議員

加賀市長

N P O 法人・加賀海岸の森と海を育てる会 会長

有吉佐和子著「複合汚染」を読んで以来、今日まで
環境問題に強い関心を持ち続けてきました。

2017年5月27日

地球環境「自然学」講座 講演レジュメ

加賀海岸緑化の普遍的価値－世界遺産を目指して－

1. 塩屋から片野地区の特徴

- ・ 冬に寒い季節風が吹くため、砂防植林を必要とする。
- ・ 江戸時代には一晩で4.5m 砂が積もったと歴史書に書かれている。
- ・ 海浜植物群落、鹿島の森、片野鴨池周辺の湿地があるため、500 種以上の昆虫がいる。
- ・ 江戸時代より植林が行なわれていた。
- ・ 片野鴨池は元禄時代に新田開発のために作られた。その後カモが飛来するようになり、狩猟の環境整備のため植林や造成を行なった。(別紙古地図参照)

2. 片野から橋立地区の特徴

- ・ 凝灰岩丘陵地帯である。
- ・ ユキワリソウなどの高山植物が生息している。
- ・ 凝灰岩と表面の土砂の間に水がしみ込み地下水となって、海に流れている。
- ・ 地下水によって原生のノハナショウブ等、多様な植物群落ができている。
- ・ 海には藻類や魚類、貝類が多数生息し、繁殖の場となっている。
- ・ 海のビオトープにしたいと考えている。

3. 尼御前岬から伊切地区の特徴

塩屋～片野地区と比べ季節風はそれほど強くないため、平地での植林が可能であり、江戸時代の植林が成功した地域である。

4. 全体のまとめ

- ・ 加賀海岸の海岸林は生態が安定して以降、哺乳類や爬虫類、両生類が20 種 昆虫500 種、鳥類が340 種、クモが8 種、生息が確認されている。
- ・ 人間が250～300 年以上かけて、人間の知恵で自然を活用してつくった世界有数の生物多様性に富んだ地域である。
- ・ 日本ならびに世界の都市で、その土地に応じた生物多様性地域を作るためのモデルケースである。

加賀海岸の位置と範囲



総延長 16.4 km、面積 42.95 km² (海域含む)

2016 年 7 月 26 日 馳 浩 文部科学大臣が加賀海岸視察時

内山 節先生（哲学者、立教大学大学院元教授）が説明されたこと

1. 日本では伝統的には、自然の猛威に対して、自然の力で自然をコントロールするという手法が採られた。
2. ゆえに自然をコントロールすることによって、新しい自然が生まれた。
3. その自然は、自然と人間の共同作業によって生まれたもの。
4. このことによって、自然の改造＝創造が、農業、漁業、地域の暮らし、治水、地域文化、民俗などを総合的、一体的に形成した。
5. 人工林づくりは海外でもおこなわれているが・・・たとえばドイツの人工林・・・それは林業のためであった。また明治神宮内苑の森は優れた人工林であり、精神文化上の意義も大きいが、それらよりも加賀海岸の海岸林の法が優れている。自然によって自然をコントロールするという手法においても、自然の力を借りて地域を一体的につくるという意味でも。
6. 自然は人間によってコントロールされるべきという西洋の考え方が、人間の傲慢さ、環境の悪化などを生んだ原因という考え方は、今日では現代哲学だけでなく、さまざまな学問分野で認識されるようになった。
7. 現在では自然と人間の共同作業のかたちが求められている。その答えが加賀海岸の海岸林にある。

調査協力有識者一覧(平成29年2月23日現在)

直接お会いした方とお電話でご協力いただいた方です。

	氏 名	所 属	区 分
1	浅田 隆	石川県教育委員会事務局文化財課長 世界遺産推進室長	行政職員
2	小川 弘司	石川県環境部自然環境課長補佐 レッドデータ担当	行政職員
3	川口 正人	石川県環境部自然環境課長	行政職員
4	木下 英樹	第九管区海上保安本部 海底と海流の専門家	行政職員
5	坂井 恵一	のと海洋ふれあいセンター普及課長 魚類の専門家	行政職員
6	真田 昌憲	石川県環境部自然環境課主事	行政職員
7	野崎 英吉	石川県環境部自然環境課長補佐 石川県内の動物に詳しい	行政職員
8	安 英樹	石川県教育委員会事務局文化財課主幹	行政職員
9	佐々木 紀	衆議院議員	国会議員
10	山田 修路	参議院議員	国会議員
11	馳 浩	衆議院議員 元文部科学大臣	国会議員
12	戸井 良平	備船 潜水漁業者	地元関係者
13	中谷 英明	加賀市漁業協同組合長	地元関係者
14	見附 裕史	加賀商工会議所専務理事 江沼地方史研究会副会長	地元関係者
15	山口 隆治	加賀市文化財保護審議会議長、文学博士 加賀市の中・近世史の専門家	地元関係者
16	山田 利明	加賀市教育委員会事務局次長(学校指導課長) 小学校校長 加賀市の植物に詳しい	地元関係者
17	桜井 忠良	鶴池と坂網狐に係る民俗文化の専門家	地元関係者
18	池田 豊隆	石川県大聖寺捕鵜猟区協同組合理事長	地元関係者
19	出島二郎	出島二郎事務所	地元関係者
20	松村 健二	鹿鳴会長 天然記念物鹿島の森を守る団体	地元関係者
21	芳原 守	第二司丸船長 加賀海岸魚場に詳しい	地元関係者
22	森下 昇一	全国北前船研究会会長	地元関係者
23	池口 新一郎	のとじま水族館副館長	専門家
24	池森 貴彦	石川県水産総合センター海洋資源部課長 加賀海岸の藻場調査を実施	専門家
25	石川 卓弥	石川県ふれあい昆虫館学芸員	専門家
26	石原 一彦	石川県淡水貝類研究会 石川県両生爬虫類研究会	専門家
27	大慶 則之	石川県水産総合センター海洋資源部主任研究員	専門家
28	金田 泰雄	鳥取大学乾燥地研究センター共同利用係長	専門家
29	北村 栄一	石川県立自然史資料館研究員 化石・地層の研究	専門家
30	坂井 芳子	石川県ふれあい昆虫館長	専門家
31	坂本 知己	森林総合研究所東北支所地域研究官	専門家
32	瀧 邦夫	日本緑化センター企画広報部部長	専門家
33	富沢 章	石川県ふれあい昆虫館元館長 石川県の昆虫の専門家	専門家
34	中野 真理子	石川県立自然史資料館学芸員 植物の生態を研究	専門家
35	能勢 育夫	石川きのこ会会長	専門家
36	藤井 孝信	日本緑化センター	専門家
37	古池 博	石川県自然史センター理事長	専門家
38	府和 正一郎	石川地理学会会員 石川県立高校元教師 漁業を中心に県内の伝統的産業を研究	専門家
39	本多 郁夫	石川県立自然史資料館元館長 植物図鑑を作成	専門家
40	美馬 秀夫	いしかわ動物園長	専門家
41	本尾 洋	日本海甲殻類研究会会長 農学博士	専門家
42	山本 邦彦	いしかわ動物園飼育展示課長 内水面生物に詳しい	専門家
43	古田 晋平	鳥取県漁業協同組合指導部 前鳥取県栽培漁業センター長 潜水調査・浅海域動植物の専門家	専門家
44	櫻井 佳明	鶴池観鯊館レンジャー	専門家
45	岡田 穰	専修大学教授 日本海岸林学会幹事	大学教授
46	甲斐 喜晃	京都大学フィールド科学教育研究センター里域生態系部門助教 魚の歴史を研究	大学教授
47	神谷 充伸	福井県立大学海洋生物資源学部海洋生物資源学科教授 藻場を研究	大学教授
48	進士 五十八	福井県立大学長 元東京農業大学長 環境復元・造園を研究	大学教授
49	杉本 亮	福井県立大学海洋生物資源学部准教授 加賀海岸で海中湧出地下水の調査を実施	大学教授
50	青梅 忠久	福井県立大学海洋生物資源学部元教授	大学教授
51	田崎 和江	金沢大学理工学域自然システム学類地球学コース名誉教授	大学教授
52	田中 克	京都大学名誉教授 農学博士 森里海連環学の提唱者	大学教授
53	益田 玲爾	京都大学フィールド科学教育センター准教授 舞鶴水産実験所長	大学教授
54	柳井 清治	石川県立大学生物資源環境学部環境科学科教授 里山・里海の保全を研究	大学教授
55	吉崎 真司	東京都市大学環境学部環境創生学科教授 乾燥地における防風・防砂を研究	大学教授
56	藤原 繪	横浜国立大学名誉教授 横浜市立大学特任教授 元国際植生学会副会長	大学教授
57	中野 伸一	京都大学生態学研究センター教授 水中の微生物を研究	大学教授
58	菊澤 喜八郎	日本生態学会元会長 石川県立大学名誉教授 林学研究者	大学教授
59	内山 節	哲学者 立教大学大学院元教授 NPO法人森づくりフォーラム代表理事	大学教授
60	西村 幸夫	東京大学工学部教授(都市計画) 日本イコモス国内委員会委員長	大学教授
61	小松 和彦	国際日本文化研究センター所長 民俗学の研究者	大学教授
62	中村 慎一	金沢大学副学長 古代学協会北陸支部幹事 東アジアの考古学	大学教授
63	西本 陽一	金沢大学教授 文化人類学を研究	大学教授
64	中村 浩二	金沢大学客員教授 環日本海域環境研究センター 動物の生態を研究	大学教授
65	エルジン・ボックス	ジョージア大学教授 国際植生学会元会長 東京大学元講師	大学教授
66	永井 三岐子	国連大学サステイナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット事務局長	行政職員
67	宮脇 昭	横浜国立大学名誉教授 地球環境戦略研究機関国際生態学センター終身名誉センター長	大学教授
68	水野 明憲	石川県立自然史資料館館長 石川県内のほ乳類を調査・研究	専門家
69	中尾 文子	環境省自然環境局生物多様性地球戦略企画室室長	行政職員
70	渡辺 綱男	国連大学サステイナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット所長	行政職員